

■ 男女共同参画を推進する具体的施策の取組状況調査(平成27年度)

<第2次高梁市男女共同参画基本計画>

基本目標：I 男女が互いの人権を認め合う意識づくり

方針	施策の方向	具体的施策 (平成24年度～平成33年度)	平成27年度取組事項(具体的に)	実績数値 (単位)	担当課
1 男女共同参画についての理解・意識づくりの推進	(1)家庭・学校・地域等における理解・意識づくりの推進	1 人権啓発リーフレットの作成・配布 2 地域人権活動ネットワーク事業 3 男女共同参画啓発・研修事業	1. 人権啓発リーフレット「きずな」を作成し、市内幼保小中高校園、公民館等に配布するとともに、各種研修会等で活用した。 2. 福地小学校において、「人権の花運動」と「人権スポーツふれあい教室」(FC吉備国際大学 Charme)を実施した。 3. 人権問題学習講座を6回開催し、うち1回を男女共同参画社会に焦点を当てるよう計画した。 H27.6.18(木)開催 演題「高齢地域における男女共同参画について」 講師：岡山県男女共同参画推進センター情報交流員 小林鈴代 氏	1. 14,000部 3. 受講者延601名	1 社会教育課 2 市民課 3 社会教育課 市民課
	(2)男性・子どもへの理解・意識づくりの推進	1 男性の参加を促す学習会等の開催 2 親子で参加できる学習会等の開催	1・2. 各校園がPTAと子どもを対象に研修を行い、様々な人権問題についての理解と認識を深めた。	1・2. 受講者延1,642名	1 社会教育課 2 社会教育課
	(3)広報・啓発活動による理解・意識づくりの推進	1 男女共同参画に関する情報収集 2 広報誌、市ホームページ、行政チャンネル等を活用した情報提供	1. パンフレット・ポスターを庁舎内へ掲示し啓発を図った。 岡山県男女共同参画推進センター等からの研修案内・文書通知を受付した。 2. ホームページに掲載(平成24年～) 第2次高梁市男女共同参画基本計画、男女共同参画に関する市民・事業所意識調査結果について男女共同参画に関する具体的施策の推進状況を掲載。		1 秘書政策課 市民課 2 秘書政策課、 市民課
2 国際的視野に立った男女共同参画の推進	(1)国際社会の動向の把握	1 男女共同参画に関する情報収集(再掲) 2 広報誌、市ホームページ、行政チャンネル等を活用した情報提供(再掲)	1. パンフレット・ポスターを庁舎内へ掲示し啓発を図った。 岡山県男女共同参画推進センター等からの研修案内・文書通知を受付した。 2. ホームページに掲載(平成24年～) 第2次高梁市男女共同参画基本計画、男女共同参画に関する市民・事業所意識調査結果について男女共同参画に関する具体的施策の推進状況を掲載。		1 秘書政策課 市民課 2 秘書政策課 市民課
	(2)国際理解・国際交流の推進	1 トロイ市との相互派遣事業 2 市民と留学生との交流会事業	1. 市内中学生9名と引率者3名の派遣団をトロイ市に派遣し、ホームステイを行うとともに滞在先での様々な交流活動を行った。 2. 市内団体国際交流活動支援事業として、吉備国際大学留学生と市民の交流活動を行った。 (市内団体国際交流活動支援事業、異文化交流フェスタ)	1. 1回 2. 2回	1 秘書政策課 2 秘書政策課

基本目標：Ⅲ 男女がいきいきと働ける環境づくり

方針	施策の方向	具体的施策 (平成24年度～平成33年度)	平成27年度取組事項(具体的に)	実績数値 (単位)	担当課
め の 環 境 整 備	1 (1)男女の均等な 雇用機会と待遇 の確保	1 男女雇用機会均等法等の周知 2 企業等の積極的改善措置の推進	1. 「働きながら妊娠、出産、育児」についてのリーフレットの掲出 「仕事と家庭両立支援ガイドブック」の窓口への掲出 2. 特になし		1 産業振興課 2 産業振興課
	(2)働きやすい職 場環境の整備	1 パワハラ、セクハラ防止のための事業所への広 報・啓発等 2 パパ・ママ・子育て応援企業登録事業	1. 特になし 2. 高梁市内の事業所で、雇用する従業員の子育て及び地域における子育てを応援する企業等をパパ・ママ・子 育て応援企業として登録し、市内外に広く紹介するとともに、育児休業取得や研修会の開催など実績にあった 登録企業に奨励金を支給した。 平成27年度末 登録企業数 16企業	2. 平成27年度末 登録企業数 16企 業	1 産業振興課 2 こども未来課
2 女 性 の 就 業 等 チ ャ レ ン ジ 支 援	(1)女性の職業能 力の訓練・開発 と再就職等の支 援	1 各種職業能力向上セミナー等の広報・周知	1. キャリアアップ講座(岡山県男女共同参画推進センター)の受講生募集を広報紙で行った。(7、11月号) (秘書政策課) 1. ㈱キャリアプランニングが主催する「女性応援出張相談会」の参加者募集を市ホームページと町内回覧で行 った。 独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構岡山支部が開催する「求職者支援訓練」の受講生募集を広報誌(10 月、1月)と市ホームページで行った。	1. 2回	1 秘書政策課、 産業振興課
	(2)自営業等に従 事する女性の支 援	1 自営業者に対する女性の経営参画の意識啓発 2 家族経営協定締結農家の促進	1. 備北商工会主催の創業支援講習会において、市施策等の説明会を実施(産業振興課) 1. 農村生活交流グループへの参加者へ経営参画についての意識啓発を実施した。 1. 各種スクール(ニューピオーネ、トマト、ピーチ)を開催し、市内在住又は就農希望の人を対象にほ場での 実習による栽培講習により栽培から収穫までに必要な技術の修得を支援した。(女性受講者:ピオーネ10名) 2. 備北広域農業普及指導センター等の農業指導機関との連携により、新規の認定農業者や再認定を行う農業者 への農業経営改善計画作成に併せ、配偶者間で家族経営協定締結について推進を行った。	女性受講者 ピオーネ14/34名 トマト4/9名 ピーチ3/9名 協定者数(配偶者 間)新規2戸 ※累計44戸	1 産業振興課 農林課 2 農林課

方針	施策の方向	具体的施策 (平成24年度～平成33年度)	平成27年度取組事項(具体的に)	実績数値 (単位)	担当課
3 の 調 和 の 推 進	(1)ワーク・ライフ・バランスの普及啓発	1 ワーク・ライフ・バランス推進のための普及啓発事業	1. 高梁市内の事業所で、雇用する従業員の子育て及び地域における子育てを応援する企業等をパパ・ママ・子育て応援企業として登録し、市内外に広く紹介するとともに、育児休業取得や研修会の開催など実績にあった登録企業に奨励金を支給した。 平成27年度末 登録企業数 16企業 1. 市主催の「平成27年度第2回高梁市企業懇談会」にてNPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事の安藤哲也氏を招き、講演を行った。	1. 平成27年度末 登録企業数 16企業	1 こども未来課 産業振興課
	(2)育児・介護等と仕事の両立のための環境整備	1 パパ・ママ・子育て応援企業登録事業(再掲)	1. 高梁市内の事業所で、雇用する従業員の子育て及び地域における子育てを応援する企業等をパパ・ママ・子育て応援企業として登録し、市内外に広く紹介するとともに、育児休業取得や研修会の開催など実績にあった登録企業に奨励金を支給した。 平成27年度末 登録企業数 16企業	1. 平成27年度末 登録企業数 16企業	1 こども未来課

基本目標：Ⅳ 男女がともに健やかに過ごせる生活づくり

方針	施策の方向	具体的施策 (平成24年度～平成33年度)	平成27年度取組事項(具体的に)	実績数値 (単位)	担当課
1 生涯を通じた健康支援	(1)ライフステージに応じた健康支援	<p>1 すこやかプラン21推進事業</p> <p>① 乳幼児健診の実施 乳幼児の心身の発達状況を見るとともに、保護者の育児上の不安や悩みについてアドバイスする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児健診(16回/年) ・1.6歳児健診(10回/年) ・2.6歳児健診(10回/年) ・3歳児健診(10回/年) <p>② 親子教室、育児相談の実施</p> <p>③ 思春期ふれあい事業の実施(市内7中学校計14回)</p> <p>④ 不妊・不育治療支援事業の実施</p> <p>⑤ 妊婦健診受診券交付、妊婦健診費用助成事業の実施</p>	<p>①乳児期前期・後期、1.6歳児、2.6歳児、3歳児の児を持つ保護者を対象に、一人5回の集団健診の場を提供している。健診により、児の発達状況の確認とともに、毎回、育児支援アンケートを実施している。発達に遅れのある児に対しては、心理相談、医療機関等を経て療育事業へ繋げ、必要に応じて就学まで支援する。育児アンケートを元に、育児についての不安や悩みをしっかりと聞くことにより、育児不安の軽減を図り、育児についてのアドバイスを行う。また、育児支援アンケートの結果により、要支援、要注意、要指導と指導の優先順位をつけて健診事後フォローを行っている。</p> <p>未受診者については、各担当保健師により、健診再勧奨及び未受診者の状況を把握している。</p> <p>②離乳食教室、親子教室、育児相談、要観察児教室等を実施し、子育ての方法や疑問、不安、悩みについて個人の生活スタイルや要望にあわせ、解決に向けての支援を行った。同年代の子どもを持つ親同士の交流も深めることができた。 保護者479人、乳幼児510人</p> <p>③ふれあい体験の前に行われる事前学習では生と性、性感染症の問題について、助産師から話を聞き、また妊婦シミュレーターによる妊婦体験、赤ちゃん人形での抱っこの練習等を行う。ふれあい体験学習では、乳幼児と保護者の参加協力を得て交流を行った。また、実施前後にアンケートを行った。(赤ちゃんのかわいさ、親子の絆、両親への感謝等の感想がだされた)</p> <p>子宮頸がんワクチン実施：延23回(3回接種) 対象：中学1年～高校1年の女子</p> <p>※厚生労働省の指導により、積極的な接種勧奨は行っていない。</p> <p>④不妊治療助成：25件 うち出産1件、妊娠届出数6件(5,615,000円) 不育治療助成：0件</p> <p>⑤母子健康手帳交付数184件 妊婦健診費用助成件数 延べ2079回</p>	<p>① 乳児健診16回 延べ275人 1.6歳健診10回 延べ174人 2.6歳健診10回 延べ174人 3歳児健診10回 延べ169人</p> <p>② 親子で遊べる教室19回 181組 離乳食教室 4回25組 育児相談延 28回198組 要観察児教室23回 延べ75組</p> <p>③ 市内7中学校で(3年生239名)、 事前学習7回 体験学習7回</p> <p>④不妊治療助成 25件 不育治療助成 0件</p> <p>⑤母子手帳交付数：184件 延べ2079回</p>	1健康づくり課

<p>1 生涯を通じた健康支援</p>	<p>(1) ライフステージに応じた健康支援</p>	<p>特定健康診査・各種がん検診の実施 ○受診率を向上させるための普及啓発 CATV・広報紙による受診勧奨、総合健診 個別医療機関・合同検診等検診体制の充実 ○電話による個別受診勧奨 ・乳がん検診 ・子宮頸がん検診 ・胃がん検診 ・胃がんリスク検診 ・大腸がん検診 ・前立腺がん検診 ・結核・肺がん検診 若い女性の検診の実施 ・20～39歳の女性を対象とした健診 生活習慣病予防のための健康教育・健康相談の実施、我が家ではつらつ事業の実施 ⑨介護予防のための健康教育、健康相談の実施 ⑩栄養教室、男性料理教室、すこやか子ども料理教室等食育に関する教室の実施</p>	<p>特定健診受診券は個人通知、各種がん検診と共に愛育委員を通じた「成人検診ガイドブック」の配布と受診勧奨を行う。オフトーク、有線放送等での広報活動や健診体制として総合検診（4会場）・合同検診（24会場）の実施と15施設の個別医療機関に委託する。 節目年齢対象者には、個別通知による無料検診を案内し、集団検診・個別検診で活用を紹介。 受診しやすい合同検診体制（特定健康診査と各種がん検診の同時実施）を整備。 ・乳がん検診 受診者のうちがん（疑い含）であった者 5名 ・子宮頸がん検診 受診者のうちがん（疑い含）であった者 0名 ・胃がん検診 受診者のうちがん（疑い含）であった者 3名 ・胃がんリスク検診 受信者のうちがん（疑い含）であった者 0名 ・大腸がん検診 受診者のうちがん（疑い含）であった者 0名 ・前立腺がん検診 受診者のうちがん（疑い含）であった者 7名 ・結核・肺がん検診 受診者のうちがん（疑い含）であった者 0名 健康診査に恵まれない家庭の主婦や自営業の女性を対象に健康診査（血液検査、血圧測定、尿検査、身体計測、内科診察、骨塩量測定）を3会場で実施。 要精密検診11名 要医療6名 生活習慣病予防のための健康教育・健康相談等の実施 特定保健指導教室12回/月×2回 美姿勢教室（12回126名）、筋肉アップ教室（12回121名）・フォロー教室（2回10名） 計26回 総合健康教育・相談87会場 健康づくり講師事業実施 延べ6団体 ⑥ 介護予防のための健康教室・相談等の実施 高梁地域は、ミニデイサービス事業で、各地域は介護予防教室の中での実施。 内容：運動機能向上・口腔機能向上・低栄養の改善に向け、運動指導士・歯科衛生士・栄養士が健康教室を行う。ロコモ予防体操を各教室実施、行政チャンネルでのロコモ体操のPRを実施。 介護予防健康教室 230回 食育の推進 栄養改善協議会委託事業 ライフステージ別食生活講習会 高齢者、子ども以外の栄養指導が希薄な青壮年期、中年期にも食育を行っている。 すこやか子ども料理教室 高齢者講習会（介護予防） 男性料理講習会 ヘルシーレシピを広報紙に掲載</p>	<p>受診者数 特定健康診査 1,527名 各種がん検診 1,406名 1,339名 1,441名 298名 2,798名 656名 2,496名 受診者数 172名 参加者数（延） 136名 257名 1,882名 ⑥ 健康教室参加者数 （延） 二次 29名 一次 4,416名 23回 439人 33回 652人 16回 276人 12回/年</p>	
-------------------------	----------------------------	--	---	---	--

<p>2 安心して子育てできる環境整備</p>	<p>(1)多様なライフスタイルに対応した子育て支援対策の充実</p>	<p>1 子育て支援拠点整備事業</p> <p>2 放課後児童健全育成事業</p> <p>3 家庭児童相談事業</p> <p>4 要支援児対策事業</p>	<p>1. 子育て支援センター「ゆう・ゆうひろば」を開設。開所時間平日の午前10時～午後4時。 平成27年度は245日開所、利用者延5,635人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆう・ゆうタイム（ミニイベント）13回開催、参加人数延472人 ・さてらいとひろば“ゆうゆう”（出張ひろば）13回開催、参加人数延195人 <p>家庭相談日開設24回、相談業務86件</p> <p>2. 平成27年度は14箇所で学童保育を実施。利用登録児童数278人（平成28年3月31日時点）</p> <p>3. 家庭児童相談員を相談窓口として対応 平成27年度は、相談総数21件（うち新規21件（要保護10件、要支援7件、その他4件）の相談があった。（児童相談所送致は0件） 「高梁市子どもを守るネットワーク」で継続して対応中</p> <p>4. NPO法人 color 及び私立保育園に業務委託し、心身の障害等の理由により支援が必要な児童に対し、日常生活における基本的な動作の指導などを実施し、児童の心身の成長発達並びにその保護者の育児不安の軽減等に努めた。 平成27年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要支援児保育委託（NPO 法人 color） 対象児3人 ・支援保育委託（私立2園） 対象児11人 ・支援保育（公立18園） 対象児73人 ・スクラム作戦 <p>情報交換会 39会場 37日間 検討件数 406件 従事者延 370人</p> <p>スクラム会議 189回開催（うち19回子ども課参加）</p>	<p>1. 開所日 245 日 利用者延 5,635 人</p> <p>2. 利用登録児童数 278 人</p> <p>3. 相談件数 21 件</p> <p>4. 利用児童数 要支援児保育委託 3 人 支援保育委託 11 人 支援保育 73 人</p>	<p>1～4 こども未来課</p>
-----------------------------	-------------------------------------	---	---	---	-------------------

	(2)地域ぐるみでの子育て支援の推進	<p>1 子ども会活動支援事業</p> <p>2 三世代のよさ再発見事業</p> <p>3 少年団活動等支援・育成事業</p>	<p>1. 子ども会（20団体、会員数829人）を支援するため活動費の助成（助成金額590,000円）したほか、活動活性化のため、市や岡山県子ども会連合会主催のイベント（習字・写生大会、交流会など）に参加した。</p> <p>2. 三世代世帯の支援から地域における三世代の支援を重視し、市役所3階会議室で交流会「たこづくり」を開催。子ども会及び老人クラブから、68名が参加した。</p> <p>3. 高梁市少年団連絡会に登録している少年団3団体(93名)に活動助成金を交付し、活動を支援した。</p> <p>3. スポーツ少年団に対し市内体育施設の使用料免除及び活動補助金を交付して支援した。（スポーツ振興課）</p>	<p>1. 団体数 20 団体 会員数 829 人 助成金額 590,000 円</p> <p>2. 参加者 68 名</p> <p>3. 3 団体 93 名 27 団体 団員 609 人</p>	<p>1～2 こども未来課</p> <p>3 社会教育課 スポーツ振興課</p>
	(3)ひとり親家庭等への支援	<p>1 ひとり親家庭等相談事業 （相談、自立支援、母子福祉資金貸付制度）</p> <p>2 児童扶養手当支給事業</p> <p>3 ひとり親家庭等医療費助成事業</p> <p>4 遺児年金支給事業</p>	<p>1. 子どもの養育や生活について、様々な不安や悩みを抱えるひとり親家庭等に適切な対応を行うために、母子自立支援員による情報提供、相談業務をはじめ、求職活動に関する支援を行った。</p> <p>母子自立支援員相談件数延252件</p> <p>母子福祉貸付相談件数17件</p> <p>2. ひとり親家庭等に手当を支給することにより、生活の安定と自立促進に努めた。</p> <p>延べ支給人数 （全部支給） 897人 （一部支給） 1,523人 （2子加算） 1,058人 （3子加算） 313人 支給金額 87,696千円</p> <p>3. ひとり親家庭の健康管理向上に資するため所得に応じた自己負担額を除いた医療費を支給した。</p> <p>受給対象者149人、延支給件数1,594件、支給金額4,433千円</p> <p>4. 保護者が死亡した児童に年金を支給し、慰撫激励を行った。</p> <p>対象児童33人、支給金額802千円</p>	<p>1. 相談件数 252 件 母子福祉貸付相談 17 件</p> <p>2. 延べ支給人数 全部支給：897 人、一部支給：1,523 人、2子加算：1,058 人、3子加算：313 人、支給金額 87,696 千円</p> <p>3. 受給対象者 149 人、延支給件数 1,594 件、支給金額 4,433 千円</p> <p>4. 対象児童 33 人 支給金額 802 千円</p>	<p>1～4 こども未来課</p>

3 安心して暮らせるための環境整備 高齢者・障害者・外国人等が	(1) 高齢者・障害者・外国人等が暮らしやすい環境整備	<p>1 各種相談・支援事業</p> <p>2 バリアフリーのまちづくりの推進</p>	<p>1. 各種相談（行政相談、なやみごと相談、弁護士無料相談、消費生活相談、司法書士相談）を実施し、様々な相談支援事業を行った。（市民課）</p> <p>1. 障害の種別等に応じた相談支援を行うため、市内の3事業所（旭川荘、たいようの丘、color）に委託して相談支援事業を行った。（福祉課）</p> <p>1. 地域包括支援センターにおいて、高齢者及び介護者等の相談業務を行うことで、住み慣れた高梁市で暮らし続けることができるように対応した。（介護保険課）</p> <p>2. 備中高梁駅西口広場を整備する中で、駐車場へ経路の距離が最短となる位置に障害者用区画を1区画整備した。また、案内板へ点字による表示を併設した。（H28.4.11 供用開始）</p> <p>2. 橋上駅舎に直結する東西連絡道の通路表面を滑りにくい仕様に変更するとともに、案内板へ点字による表示を併設した。</p> <p>2. 要支援・要介護認定のある高齢者ができる限り住み慣れた自宅等で暮らし続けることができるよう、段差解消等の住宅改修を行った者に対して介護保険住宅改修費の給付費を行った。（介護保険課）</p>	<p>1. 行政相談 51 回 なやみごと相談 39 回 法律相談 59 回 消費相談 12 回 司法書士相談 25 回</p> <p>1. 相談実績 6,600 件</p> <p>1. 相談実績 延 11,634 件</p> <p>2. 236件 27,663,232 円</p>	<p>1 市民課、福祉課、介護保険課</p> <p>2 まちづくり課</p> <p>介護保険課</p>
	(2) 高齢者・障害者。外国人等の社会参加の促進	<p>1 障害者地域活動支援センター事業</p> <p>2 健やか高齢者生きがい支援事業</p> <p>3 福祉移送サービス事業</p> <p>4 市民と留学生との交流会事業（再掲）</p>	<p>1. 市内3箇所で事業を実施（NPO法人きらめき希望会（1箇所）、ハピネスたかはし会（2箇所））し、障害者に対して生産活動や交流促進の機会を提供するなど、地域生活支援を行った。</p> <p>2. 高梁市社会福祉協議会、有漢荘、白和荘、グリーンヒル順正へ通所サービス業務を委託し、高齢者の孤立感の解消、介護予防効果の促進を図った。</p> <p>3. 高梁市社会福祉協議会へ福祉移送サービス業務を委託し、高齢者の社会参加の促進を図った。</p> <p>2. 市内団体国際交流活動支援事業として、吉備国際大学留学生と市民の交流活動を行った。（市内団体国際交流活動支援事業、異文化交流フェスタ）</p>	<p>1. 実利用者数 8人（きらめき希望会）</p> <p>2. 延利用者数 2,893人</p> <p>3. 延利用者数 5,046人</p> <p>2. 2回</p>	<p>1~3 福祉課</p> <p>4 秘書政策課</p>

方針	施策の方向	具体的施策 (平成24年度～平成33年度)	平成27年度取組事項(具体的に)	実績数値 (単位)	担当課
《高梁市配偶者等に対するあらゆる暴力根絶のための環境整備 及び被害者支援基本計画》	4 配偶者等に対する暴力の防止	1 男女共同参画啓発・研修事業(再掲) 2 若年層へのデートDV防止のための広報・啓発等	1. 人権問題学習講座を6回開催し、うち1回を男女共同参画社会に焦点を当てるよう計画した。 H27.6.18(木)開催 講師：岡山県男女共同参画推進センター情報交流員 小林鈴代 氏 2. 特になし	1. 受講者延 601名	1 社会教育課 市民課 2 こども未来課 市民課
	配偶者等に対する暴力の被害者支援	1 DV相談事業 2 DVに関する相談窓口の周知	1. DV(デートDVを含む。)については、母子自立支援員を相談窓口として相談を受け、関係機関と連携しながら、必要に応じて警察署や県女性相談所に通知した。 2. 関係機関からの啓発リーフレット、チラシ等を市施設に配置し、相談窓口の周知等の啓発活動を行った。	1. 相談件数 10件	1 子ども未来課 2 市民課